

(1) — ② 英語によるおもてなし講座

【事業の概要】

大臣会合の会場周辺や商店街等に勤務する皆様を対象に、接客や道案内などの日常的な英語を紹介するとともに、外国人に好印象をもっていただくためのおもてなし方法を学んでいただいた。

●実施時期

平成28年2月2日、
3月1日、3月10日の3回

●参加者数

合計 112人

●会場

サンポートホール高松会議室
丸亀町レッツホール



主な実施事業

(1) — ③ 大使館関係者の事前視察ツアー等

【事業の概要】

G 7 各国の駐日大使や大使館職員等を招聘し、大臣会合の会場やホテル等を案内したほか、県を代表する観光地や県産品等を紹介し、香川県の魅力をPRした。

●視察者

大使館員ツアー参加者 11人

駐日フランス大使

駐日ドイツ大使

駐大阪イタリア総領事など

●視察場所

かがわ国際会議場

栗林公園

地中美術館 など



主な実施事業

(1) — ④ 渋滞・混雑緩和

【事業の概要】

会合期間中の会場周辺での交通渋滞・混雑緩和対策として、広報誌・新聞で周知を行うとともに、県内各所において立看板を設置した。

●実施内容

県広報誌 4月号

高松市広報誌 4月15日号

ういラブかがわ 4月号

交通対策用看板 102箇所

警戒警備用看板 8箇所



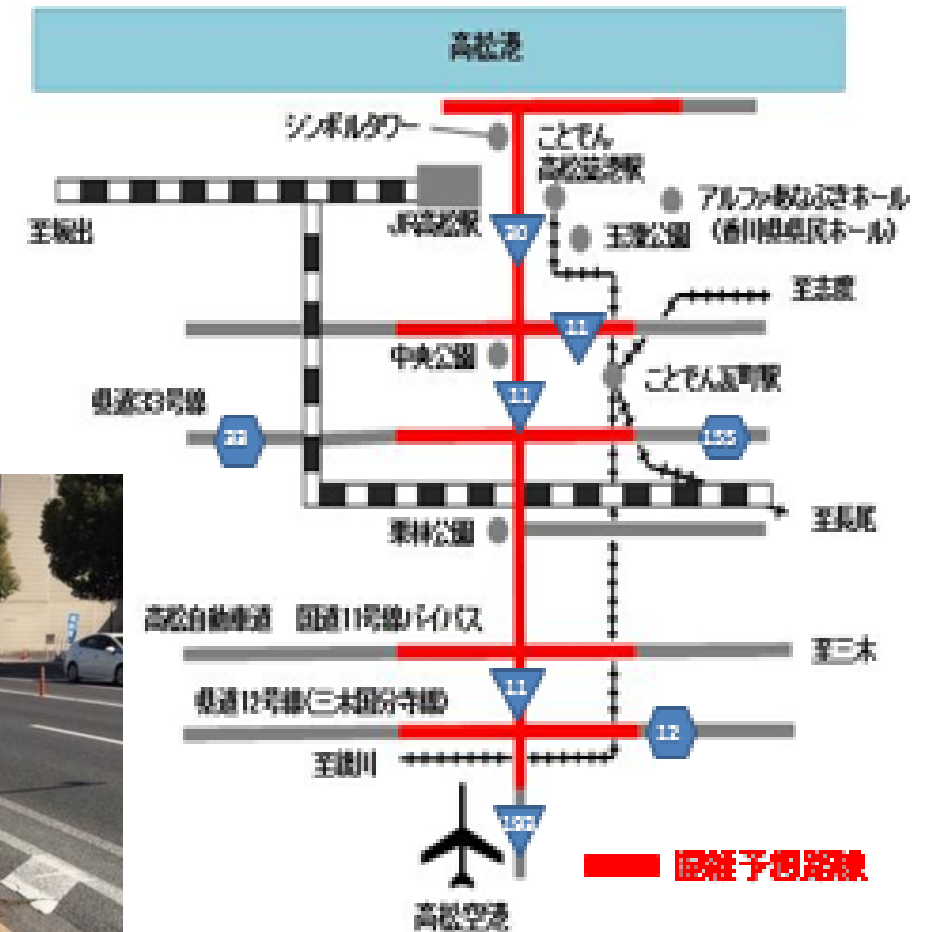
G7香川・高松情報通信大臣会合開催に伴う

マイカー自粛等 交通総量抑制

ご理解・ご協力願います

日時 平成28年4月28日(木)～4月30日(土)

場所 サポートを中心とした高松市街



香川県警察

主な実施事業

(2) — ①オープンデータ活用セミナー

【事業の概要】

大臣会合の開催機運を高めるとともに、ICTによる地域の課題解決に取り組む人材を育成するため、オープンデータ活用セミナーを実施した。

●実施時期

平成28年3月13日

●会場

e-とぴあ・かがわ

●実施内容

- 第一部 インプットセミナー 参加人数 35人
「オープンデータを活用して地域の課題を解決しよう」
第二部 ミニハッカソン 参加人数 29人
「5374（ごみなし）アプリ開発ワークショップ」

G7香川・高松情報通信大臣会合関連事業

オープンデータ活用セミナー

G7香川・高松情報通信大臣会合の開催機運を盛り上げ、ICTによる地域創成に資する人材の育成のため、オープンデータを活用したセミナーとミニハッカソンを開催します。

日時 2016年 **3月13日** 日 13:30~17:30

場所 情報通信交流館e-とぴあ・かがわ BBスクエア

第一部 インプットセミナー ①13:30~14:00
「オープンデータを活用して、地域の課題を解決しよう!」
— 日本全国に広がる Code for Japan の活動のご紹介 — **定員50名**
| 講師 | 高木 祐介氏 (Code for JAPAN 副理事長)

第二部 ミニハッカソン ②14:15~17:30
「5374アプリ開発ワークショップ」 **定員30名**
| 講師 | 福島 健一郎氏 (Code for Kanazawa)

5374.jpとは?
分析ゴロをいっしょに試してみよう
シンプルに楽しくできるウェブアプリ

■講師プロフィール

 コードフォージャパン 副理事長
平成27年度地域活性化アドバイザー
高木 祐介
(内務省自治行政課)

 一般社団法人コード・フォー・カナザワ 代表理事
アイバプリッシング株式会社 代表取締役
福島 健一郎

2009年4月に金沢でアイバプリッシングをパートナーと創設。モバイルやオープンデータを軸にしたアプリやサービス開発を行っている。また、地域の課題をITの方で解決するために、2013年5月にCode for Kanazawaを3人で設立。日本で初めてのCode for コミュニティとなった。2014年に一般社団法人化。Code for Kanazawaが運営した5374(ごみなし).jpは全国のコミュニティの手で2015年12月末現在で85都市以上に広がり、年度初のシビックアックアプリと言われている。現在は、シビックアックを国内に広げるための活動にも力を入れているほか、シビックアックを実現するための基盤となるオープンデータやオープンガバメントについても積極的に活動を行っている。

Codeフォージャパンとは?
年間参加型のコミュニティ運営を通じて、地域の課題を解決するためのアイデアを考え、テクノロジーを活用して公共サービスの提供や運営を実施している非営利団体です。Code for Japanが提供する支援プログラムに参加している各地のコミュニティも、Code for Japan Brigade [ブリガード] と呼び、各Brigadeは活動地域の市長や自治体と連携し、テクノロジーを活用することで地域課題を解決します。現在公益団体として13団体、公益事業中の団体も含めると、60団体にもなります。

主な実施事業

(2) — ② G7学生ICTサミット in 高松

【事業の概要】

大臣会合開催を多くの皆様に知っていただくとともに、若者のICTに関する問題意識の醸成や国際交流の促進を図るために、G7参加国出身の大学生らによる学生サミットを開催した。本番の大臣会合において、学生たちがまとめた提言を発表した。

- 実施時期 平成27年12月12日
- 会場 かがわ国際会議場
- 参加学生 G7各国とEU加盟国出身の高校生・大学生10名
- コーディネーター 慶應義塾大学大学院教授 中村伊知哉氏
- 傍聴者 学生・一般人等 約160人



主な実施事業

(2) — ③ プレスツアー

【事業の概要】

大臣会合の会場のほか、県内観光地や県産品、ICTに関する特徴ある取組みなどを多くのメディアに取り上げていただくために、外国メディア向けのプレスツアーを2回実施した。

●実施時期

1回目 平成27年12月12日～13日

2回目 平成28年3月5日～6日

●ツアー参加者数

合計22人

●視察場所

栗林公園・直島・小豆島・豊島

学生サミット・ICTの利活用事例など



主な実施事業

(2) — ④ サミット給食

【事業の概要】

食文化を通して、県内の児童生徒に「G7」や「サミット」についての理解を深めてもらうとともに、大臣会合の開催にむけた歓迎気運を高めることを目的に、G7各国にちなんだ料理を学校給食で提供する「サミット給食」を実施した。

●実施時期

平成28年1月～4月

●実施場所

県内の6市4町の小・中学校と一部の特別支援学校の計153校 及び 一部の幼稚園



主な実施事業

(2) — ⑤ 歓迎レセプション

【事業の概要】

大臣会合の前日に、各国代表や随員、ICTマルチステークホルダー会議登壇者等を対象とした地元主催の歓迎レセプションを実施し、地場産品を使った和食等でおもてなしを行った。

- 実施時期

平成28年4月28日

- 実施場所

喜代美山荘花樹海

- 参加者

G7 各国代表・随員、ICTマルチステークホルダー会議登壇者

高市早苗総務大臣ほか日本政府関係者

県議会・高松市議会関係者

G7 香川・高松情報通信大臣会合推進協議会委員 ほか 約160名



主な実施事業

(2) — ⑥ 歓迎装飾

【事業の概要】

大臣会合の開催を県民の皆様にご存知いただき、県民を挙げて歓迎気運を高めていくために、懸垂幕、バナーフラッグ等の歓迎装飾を実施した。

● 実施内容

懸垂幕 7箇所

バナーフラッグ 95箇所

のぼり 150箇所

横断幕 18箇所

● 設置場所

高松中央商店街・中央通り

サンポート高松周辺

高松空港



主な実施事業

(2) — ⑦ クリーンアップ

【事業の概要】

大臣会合参加者に対するおもてなしのために、高松市環境美化都市推進会議が実施する環境美化活動と連携して、G7 歓迎クリーンアップキャンペーンを実施した。

- 実施主体
高松市環境美化都市推進会議
- 実施時期
平成28年4月21日
- 清掃箇所
サンポート高松周辺、中央通り、菊池寛通り
- 参加者
高松市職員、香川県職員、周辺の事業所にお勤めの方



主な実施事業

(2) — ⑧ 飾花

【事業の概要】

大臣会合参加者に対するおもてなしのために、大臣会合周辺や会場内において、県産オリジナル品種や県産主要花きによる飾花を実施した。

- 実施期間
平成28年4月26日～5月1日
- 実施場所
サンポート高松周辺
JR高松駅コンコース
高松シンボルタワー内（記者会見場、エレベーターホール等）
- 飾花内容
モニュメント飾花（JR高松駅）及びプランター飾花
県内生産者が生産した春の花壇苗（ペチュニア、マリーゴールド等）



主な実施事業

(3) — ① エクスカーション

【事業の概要】

大臣会合に参加した各国代表らに対するおもてなしのために、直島町の地中美術館を案内した。

また、ICTマルチステークホルダー会議登壇者らを、栗林公園に案内した。



●実施時期/場所

平成28年4月30日/地中美術館（各国代表ら）

平成28年4月29日/栗林公園（ICTマルチステークホルダー会議登壇者ら）

●参加者数

地中美術館 37人

栗林公園 20人

主な実施事業

(3) — ② 県産品等のPR

【事業の概要】

歓迎レセプションにおいて県産食材を使ったメニューを提供するとともに、乾杯時に県産日本酒を使用したほか、会場内での県産品等の展示や伝統芸能を披露することで、大臣会合参加者に対して魅力ある香川の地場産品や伝統工芸品、伝統文化等をPRした。



主な実施事業

(3) — ③ 記念品

【事業の概要】

各国代表やその他の参加者に対し、香川・高松ならではの記念品を贈呈し、歓迎の意を表するとともに、優れた伝統工芸品をPRした。



● 記念品の内容

各国代表への記念品：漆器製品

その他の参加者全員への記念品：讃岐のり染小風呂敷

主な実施事業

(4) — ① ホームページの開設

【事業の概要】

大臣会合の日程や概要等に加え、「迎（おもてなし）」・「美（感じる）」・「餐（味わう）」・「観（赴く）」をキーワードに、香川・高松の魅力やMICE環境を紹介するページを新たに設けて、国内外に向けた情報発信を行う。



- 実施時期
平成28年2月
(随時更新中)



主な実施事業

(4) — ③ PRグッズ

【事業の概要】

大会会合を県民の皆様幅広く知っていただき、県民を挙げて歓迎機運を高めていくために、ポスターや缶バッジ、ミニのぼり等のPRツールを作成し、配布・掲出した。

● 広報資材の作製数

ポスター	4,300枚
チラシ	16,000枚
缶バッジ	3,000個
ミニのぼり	450個
クリアファイル	5,000枚

● 主な配布先

会議施設・ホテル・公共施設
公共交通機関・イベント参加者等

